

平成30年4月月報

1 はじめに

平成30年度が始まりました。本年度は、新信条のもと自衛隊家族会としてスタートして2年目になります。

さて、3月20日に行われました理事会で平成30度自衛隊家族会事業計画と同収支予算書が承認されました。本年度は、自衛隊家族会を更に広報しつつ「会員獲得！一人がひとり」を実行して、会員の拡大に努め、隊員に最も身近な組織として、今年度も厳しい環境下で任務を遂行しなければならない自衛隊を支える諸事業を推進して参ります。

2 防衛省・自衛隊の行動

(1) 安倍首相が防衛大学校卒業式で訓示



國分校長から卒業証書授与

3月18日(日)に防衛大学校第62期生の卒業式(本科学生494人、うち女子40人、留学生20人)が安倍首相、小野寺防衛大臣臨席の下で行われました。安倍首相は、卒業生に対し「諸君は将来、わが国の防衛を中枢で支える立場に就く。既存の思考の枠組みを越えようとする柔軟な発想で今後降りかかる課題に取り組んでももらいたい」と訓示し、家族に対しては、「大切なお子様を隊員として送出して頂いたことに、自衛隊最高指揮官として心から感謝します」と述べました。

(2) 陸上総隊及び水陸機動団を新編

陸上自衛隊は、わが国を取り巻く厳しい安全保障環境において作戦基本部隊などの迅速な運用を可能とするため3月27日、「陸上総隊」(司令部：埼玉県朝霞駐屯地)を新たに編成しました。また島嶼を占領された場合、速やかに上陸・奪回・確保するため本格的な水陸両用作戦を行う「水陸機動団」(司令部：長崎県相浦駐屯地)を同じく3月27日、新たに編成しました。

3 自衛隊家族会の活動

(1) 平成29年度自衛隊家族会第4回理事会を開催

3月20日(火)自衛隊家族会の理事会が、理事・監事30名及び運営委員が参加して、防衛省近くのグランドヒル市ヶ谷で行われました。

ア 伊藤会長挨拶

理事会の開会に先立ち挨拶で「北朝鮮の長距離ミサイルに対応するイージス艦やPAC3部隊は、いつ終わるかも分からないかってない厳しい任務を遂行している。次の防衛計画の大綱・中期防は、これまでとは様変わりになるだろう。募集は大変苦勞している。このような厳しい現状を踏まえれば、家族会はこのままでよいのか。21世紀の家族会を考えていかねばならない。さらに憲法改正についても家族会として考えていきたい」と述べました。



挨拶する伊藤会長



議案審議中の理事会



参加理事・監事・運営委員

イ 審議事項

次の6議案が審議され、いずれも異議なく原案どおり可決しました。第1号議案と第2号議案は、自衛隊家族会HPに掲載しています。

※（ ）内は説明者。報告事項も同じ。

(ア) 第1号議案 平成30年度自衛隊家族会事業計画 (案)

- *本文・わが国周辺の状況 (佐田事務局長)
- *おやばと拡販実施計画 (宮下理事)
- *家族支援協力実施計画 (海沼理事)
- *会勢の充実実施計画 (櫻木理事)
- *主要行事予定表等 (佐田事務局長)

(イ) 第2号議案 平成30年度収支予算書 (案) (佐田事務局長)

(ウ) 第3号議案 分担金算定要領の改正 (案) (同上)

(エ) 第4号議案 個人情報保護規則の全部改正 (案) (同上)

(オ) 第5号議案 運営委員人事 (案) (同上)

(カ) 第6号議案 平成30年度総会の開催 (案) (同上)

ウ 報告事項

次の3項目について報告されました。

(ア) 報告1 自衛隊家族会活性化施策検討方向 (宗像理事・土谷委員)

(イ) 報告2 国際平和協力活動等支援基金管理運営委員会報告 (佐田事務局長)

(ウ) 報告3 代表理事及び業務執行理事報告 (同上)

エ 意見交換会

理事会終了後、久保陸幕募集援護課長、更谷陸幕厚生課長以下各幕関係班長、本会顧問の中谷元衆議院議員、佐藤正久参議院議員、宇都隆史参議院議員、中谷真一衆議院議員及び依田智治名誉会長等が参加され、活発な意見交換が行われていました。

(2) 分担金の算定要領の改正

現行の分担金の算定要領を平成31年度から分かりやすくかつ簡素化したものに改正する案が了承されましたので、本案を6月の定期総会に提案します。

(3) 個人情報保護規則の全部改正

改正個人情報保護法に対応した自衛隊家族会個人情報保護規則の改定案が承認されました。主要な改正事項は個人情報の定義、適正な取得及び記録、個人情報記録簿の整理、取得に際して利用目的の通知、データ内容の正確性の確保等です。

改正された自衛隊家族会個人情報保護規則は、平成30年4月1日からの施行になりますので、

改正個人情報保護規則と同マニュアルを添付します。確認して下さい。

(4) 自衛隊家族会の活性化施策検討

家族会本部は、「真に自衛隊（隊員や家族）を支えることができる自立組織」を目指して、全国的な充実発展のため、「組織の強化」「会員の充実」「活動の深化」を主要課題として、「活性化施策」（新しい家族会のあり方）の検討を進めて参ります。

(5) 各県家族会の活動スナップ

【家族支援協力調整会議】

【家族支援協力協定の締結】



山口県家族会



静岡県家族会



神奈川県家族会

【入隊入校激励会で会長挨拶】

【激励会に県知事出席】

【女子プロ野球選手が入隊予定者激励】



沖縄県家族会



山口県家族会



京都府家族会

【入隊入校予定者勢ぞろい】

【愛車で募集広報支援】



大分県家族会



広島県家族会員